

大空地区河川防災ステーション伝達式を開催

◆国土交通省では、水防活動や災害時の緊急復旧を行う拠点となる「河川防災ステーション」の整備を、市町村と一体となり進めています。

このたび、北海道開発局と大空町が国土交通本省に対して申請していた「大空地区河川防災ステーション」の整備計画が登録されたことから、**大空町へ登録の伝達式を行いました**。北海道内における河川防災ステーションの登録は、12箇所目となります。

◆「大空地区河川防災ステーション」では、平常時に水防センター内の多目的ホールを研修・交流施設として活用するほか、網走湖畔におけるイベント開催時には、河川防災ステーションの敷地を活用した地元特産品販売等の活用を地域と連携して検討していきます。

◆大空地区河川防災ステーションは、以下の整備を行う予定です。

- ・緊急復旧用資材(土砂、根固めブロック等)の備蓄、駐車場など
- ・水防センター(大空町)

登録証伝達式

- 日時:平成30年4月5日(木)14:00~14:30
- 出席者:網走開発建設部長、大空町長
- 会場:大空町役場1号会議室

鈴木網走開発建設部長

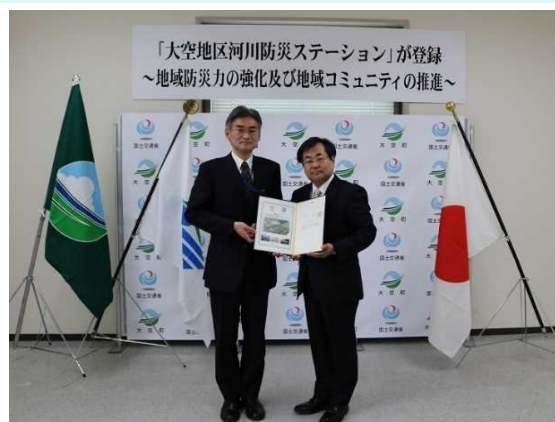
「この防災ステーションがオホーツク管内一体の地域防災力の向上、地域活力の増大に支援する施設になって欲しい。」

山下大空町長

「地域の安全を守り、平常時には地域住民が文化活動の拠点として利用できる施設として、網走開発建設部の皆さんと一緒に整備を進めていきたい。」



鈴木網走開発建設部長（左）から山下大空町長へ登録証を伝達



登録証を手にする鈴木網走開発建設部長（左）と山下大空町長